

180

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

事務局:〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
狭山研修センター:〒350-1315 埼玉県狭山市北入前695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
滝沢研修センター:〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2025 10/1

2面・3面 巡回公演日より/園からの声/いいだ人形劇フェスタ2025報告
4面 制作日より/演育ワークショップ/事務局日より ほか

<http://www.suginoko.org/>
E-mail: support@suginoko.org



「金のおの銀のおの」いいだ人形劇フェスタ2025に於いて

学ぶことの大切さにおける人間力

理事長
大場 隆志

それらを継続的に高めていく力の応用として、合理的に答えを出す「論理的思考力」や、従来の枠組みにとらわれず独創的な答えを出す「想像力」や「創造力」を含めたものが構想力となります。

構想力が高い人材は新しい事業やプロジェクトのアイデアを作り出すことができます。

決断力とは、複数の選択肢から責任を持って決定し、実行する力のことです。立場や役職にもよりますが、単に実行するだけではなく結果責任を引き受ける覚悟を伴うものです。

意思決定における決断力において、「良いこと」と「悪いこと」の間の選択であれば、良い方を選べば良いということになります。が、「良いこと」と「良いこと」のどちらを選ぶかという選択こそが、本当の意思決定であり、決断力ということになります。

どんなにAIを使っても最終的な判断はできません。AIは、過去の分析などにおいての良い方向は示すことができますが、本来どうあるべきかという決断はできないということになります。

実行力とは、困難があっても最後まで諦めずにやり遂げることを言います。

欲しい結果は何か。その欲しい結果を可能にしてくれる資源は何かを考える必要があります。社会で求められる実行力は周囲の人々と協力しながら、高い目標を実現するために必要な力です。

人間力とは、知識やスキルだけではなく、対人関係力や自己管理能力を含む人としての総合的な力であり、人間力が高い人は、誠実

で柔軟な思考を持ち、感情をコントロールしながら行動できます。人間力を高めることは、すべての項目においての力を高める基となり、人としての器を大きくするという日々の積み重ねによって高められる力のことです。

すぎのこ芸術文化振興会では、演劇が持つ力を利用して幼少期から、表現力、コミュニケーション力、創造力、そして総合的な人間力を学んでいただくための教育として、「心を育むすぎのこ演育」を進めております。これからのAI時代に求められる教育として、皆さんに分かりやすく学んでいただくように、学校での演育授業やワークショップを通じて普及活動をしてまいります。

人間の体に栄養が必要ないように、心にも栄養が欠かせないと思えます。体の栄養は食物ですが、心の栄養は自分の得にはならないことをして、人のためになることをすることで、栄養になります。心の栄養が不足している人は人間力も低いということだと思います。

そして、自分の能力をはるかに超えることを求められている環境に身を置いている時に、初めて人は成長していくと思います。楽な環境に身を置いている間は、人間は決して成長しないと思います。自身も人間力を高めてまいります。

すぎのこ芸術文化振興会は、これからの時代に求められる教育を、皆様と一緒に取り組み、子どもたちの未来を切り拓くための能力や資質の育成に貢献してまいります。と思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。

巡回公演だより

金のおの銀のおの 班

インではお世話になりました。先生の作品の三作品を人形劇にしました。「やさしいライオン」は



ライオンと犬「チリンのすず」はオオカミと羊「そっくりのくりのき」はくりのきと子ギツネが登場します。どの作品も、異種間同士の愛情と死のテーマは複雑な想いをいだけさせます。なんのために生まれ、なんのために生きるのか――。



私は、人形劇と出逢い、子ども達の笑顔に出逢い、何かを伝えたいと思っています。

園庭のアンパンマンの遊具はやなせさんの想いの記念碑であるように見えます。

(榎本均)

かさじぞう 班

今年の4月から始まりましたかさじぞうの人形劇は、たくさんの方に見ていただき、ご意見などもいただきながら、全国を巡回して

園からの声

金のおの銀のおの

■生坂保育園(長野県東筑摩郡生坂村)

1歳児〜5歳児まで、みんながキャッキョッと声を出して笑いながら見ていました。プロの劇団ならではの表現力と迫力で魅了されました。お話の題材もみんなが楽しめるもので、とても良かったです。人形と触れ合える時間も貴重な体験でした。ありがとうございました。

■二葉保育園(福井県越前市)

2歳から5歳まで鑑賞しましたが、みんな集中して劇をみていました。ストーリーも工夫があって、大人も楽しめました。最後の記念写真では、小さい子は人形との触れ合いを喜んでいましたし、大きい子は複雑な仕組みに興味深々でした。劇団の方との触れ合いもよい思い出です。ありがとうございました。

■認定こども園めぐみ(北海道北見市)

人形と映像の融合で今までにない形でしたが、絵に描いたものがそのまま飛び出してくるという感覚に、子供たちも先生も驚かされました。走って逃げる場面でも、映像と相まって惹きつけられて面白かったです。

■歌登保育所(北海道枝幸郡枝幸町)

1つ目のお話「大きなかぶ」では、子ども達も一緒に掛け声で参加させてもらい、大人も子どもも楽しめる作品でした。

2つ目のお話「マリーヤンとま

ほうのふで」は、背景にスクリーンを使っていたので、子ども達もわかりやすく、物語に自然と引き込まれていく姿が見られていました。私達保育士にはできない世界観を味わうことができ、子ども達にとって良い経験になったと思います。迫力・演技力など、レベルが高く圧倒されました。

かさじぞう

■和田保育園(鹿児島県鹿児島市)

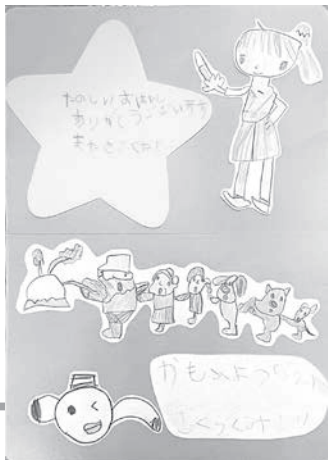
今回も楽しいお話をありがとうございました。

ございました。

演者さんの表情や動き、様々な演出などが終始わくわくで、子どもたちもとても楽しんでいました。帰られてからも「おもしろかったね!」「雪ふってすごかったね!」など話を膨らませて余韻に浸っていました。暑くなりますがお体に気を付けて頑張ってください。

■たいせいこども園(鹿児島県指宿市) 演じ手と子ども達が一体となって楽しめていたように感じました。普段あまり絵本などに興味を示さない子ども、今日はじっくりと見はまっていたようです。お話もゆつくりだけど、大きい子ども達も飽きさせることなく進んでいき、癒された1時間でした。

▲かもの幼稚園(北海道留萌市)より



▶前浜保育園(鹿児島県鹿児島市)より



▲認定こども園さきよう幼稚園②(北海道函館市)より



▲認定こども園さきよう幼稚園①(北海道函館市)より

気持ちになって、元気を貰っています。そして私も子どもたちに力をもらって、また子どもたちに楽しい人形劇を届ける。この関係がずっと続けていけたら、それはとても幸せなことだと思います。

まだまだ巡回公演は続きますので、これからもよろしくお願いたします。

(星野 翼)

マーリヤンセ まほうのふで班

初めての旅、初めての園での公演と、初めてづくしの1学期でしたが、無事に終えることができました。

実際に園で子どもたちに見ても



旅先にて 巡回班メンバーで餃子作り

らう際には、最初こそ緊張しましたが、これまで稽古してきたことを十分に発揮することができました。

終演後には子どもたちから「楽しかった!」「また来てね!」と声をかけてもらい、安心と喜びで胸がいっぱいになりました。

公演を重ねるうちに、緊張よりも楽しさの方が大きくなり、子どもたちにも楽しんでもらうと同時に、自分自身も演劇を楽しめるようになってきました。

ただし、慣れてきたときこそミスが出やすい時期でもありますので、改めて気を引き締めて、2学期も頑張っていきたいと思っています。

余談ですが、8月8日・9日に飯田人形劇フェスタを見に行きました。劇団に入って初めて人形劇に触れた身として、フェスタはとてもしっかり2日間を過ごしました。長野出身ではありますが、飯田で人形劇フェスタが行われていることを知りませんでした。劇団に入ったことをきっかけに人形劇

に触れ、そのような催しを知ることができたのは、とても良い経験になっています。今後の旅でも、その土地ならではの文化や催しに触れてい

たらと思えました。

(佐藤 慧弥)

もぐもぐ 劇場

班

今年の夏も、昨年以上に猛暑・酷暑でしたが、皆様!お元気です!



ようか。

もぐもぐ劇場は、7月から9月にかけて、昨年に続き神奈川県内の保育園で上演を行いました。今回の作品の中に、やせたかshi先生原作の「やさしいライオン」という絵話があります。悲しい内容なのですが、2歳児も15分間しっかり観てくれました。

子どもたちの集中力は物凄いです!

そして、子どもたちの中には私のことを覚えていた子もいて、「もぐくん!前も来たよね!」と、声をかけてくれました。最高に嬉しい瞬間です。

今月からは、久しぶりに地方での旅公演があります。子どもたち一人一人との出会いを大切に、一つ一つの上演を精一杯頑張ります!

(下村 あきら)

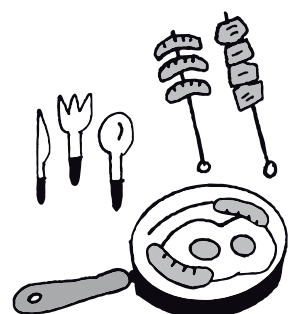
いっしょいっしょ劇場

■相武台保育園(神奈川県座間市)
和やかな優しい雰囲気の中、5歳児全園児で楽しく観させて頂きました。お人形が出てくると子ども達(小さい子たち)もとてもうれしそうでした。やさしいライオンの布芝居?でしょうか、とても見やすかったです。大きな舞台の人形劇を楽しみたいという子ども

の声もありました。「楽しかったね」「そうだよね」と子ども同士のやりとりがありました。子ども達ひとりひとりのお別れをしてくださり、温かいお気持ちに感謝です。

■栗原保育園(神奈川県座間市)
小さい子もうたを楽しんだり、音楽やギターに合わせてみる事ができた。最後まで集中して内容が理解するの

が難しい子もいたが、雰囲気を楽しんでいた。



いっだん人形劇フェスタ2025

今年の夏も「いっだん人形劇フェスタ」に参加させていただきました。

1979年に「人形劇カーニバル飯田」としてスタートして、20年後の1999年に「観る・演じる・支える」すべての人が主体的に参加する「いっだん人形劇フェスタ」として再出発し、現在にいたります。

今回すぎのこは「ワッペン公演」(参加証ワッペンで自由に観劇できる)に参加し、市内の松尾公民館にて夜7時から「金のお銀のお」を公

演させていただきました。遅い時間にも関わらず、暑い中200名前後のお客様に観劇していただき、大盛況の中無事に幕を降ろすことが出来ました。飯田の豊かな伝統と市民力を背景に、ただのイベントではなく文化と地域をつなぐ大切な「場」として発展してきたこの「飯田人形劇フェスタ」に参加出来たことに感謝して、これからも私たちは前進したいと思っています。

(小杉 正繁)





夏が終わりました。皆様はこの季刊紙が届くころは秋も訪れていることでしょう。

劇団すぎのこの団員は、もはや災害とも言うべき酷暑のなか、各

講習会 報告

演育ワークショップ

2025年6月と7月、埼玉県飯能市にあるさゆり幼稚園において、演育ワークショップを実施しました。

6月は、年中クラスでは表現力・理解力・コミュニケーションをつけることを目的とした「伝言ゲーム」、年長クラスでは感情を表現する力を養う「笑うこと・泣くこと」を行いました。また7月には、「人形劇で演育」を実施しました。これは、すぎのこの片手で遣う動物の人形に、子どもたちに名前を付けてもらい、みんなの前で一人ずつ人形で自己紹介をするワークショップです。普段は

園からいただいたアンケートを参考に演出や演技を改善したり、あらためて人形劇の実習——人形の表情の作り方・人形を持つときの歩き方・舞台での奥行の活かし方など——を行ったりしていただきました。こうした積み重ねの成果を皆様にお届けしたいと思っております。是非すぎのこの人形劇をお楽しみください。(坂本 憲治)

恥ずかしがっていた子も、人形を遣ってみると、いつもより元気な声で、ユニークな挨拶をしてくれました。これも、人形を持つ魅力だと思えます。

2学期からは、年少クラスも参加します。

演育ワークショップは、「おうたで演育」「おあそび演育」「おはなし演育」「おにぎりよう演育」など、様々なワークショップがあります。先生方に向けた講習会もありますので、お問い合わせください。(下村 明)



利用報告 婦恋研修センター

「すぎのこ婦恋研修センター」は今夏、群馬大学医学部ラグビー

婦恋研修センターのご案内

部の皆様にご利用いただきました。またお友達連れの皆様にも多数ご利用いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現公益財団法人J



婦恋研修センター

KA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはパーベキューが楽しめる集会棟が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail: support@suginokorg または03-3984-2396 (事務局)

賛助会員を募集しています!

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

- 1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
(1)賛助会費を納める「会費制賛助会員」
個人 年額 3,000円 以上
団体 年額 10,000円 以上
(2)知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
個人 年間 3日間以上
団体 年間 5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

新しい仲間紹介



石井 雅代

皆様、はじめまして。8月に入団しました。もともと観劇や美術鑑賞が好きでしたが、人形劇の舞台に立

つようになったのは26歳の頃のことです。30代は他の分野の仕事をしていましたが、また人形劇公演に携わるチャンスを得たことが嬉しかったです。温かく楽しく見応えのある舞台を届けたいと思います。どうぞよろしく願います。

活動記録(令和7年7月~9月)

- 7/2-9 演育ワークショップを実施
於:さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
8/8 いいだ人形劇フェスタ参加「金のおの銀のお」於:長野県松尾公民館
8/8 第一学期全国巡回公演終了
8/26 第二学期全国巡回公演開始

